

# 旧吉田茂邸再建へ

## 募金活動にご協力を！

東日本大震災の被災地支援を最優先に考え、旧吉田茂邸再建基金の募金活動を休止していましたが、旧吉田茂邸の再建範囲が決定し、いよいよ再建事業と募金活動を再開します。旧吉田茂邸再建計画事業費（最大総額6億円）に対する基金

の不足額、約2千7百万を目標額としています。皆さんのご協力をお願いいたします。



▲焼失前の旧吉田茂邸

### 【募金方法】

①専用納付書により指定金融機関での納付

②現金書留による納付

③町窓口で直接納付

④専用口座への振込み

⑤町公共施設に設置の募金箱

④の専用口座への振込先は、「中南信用金庫 本店 普通預金口座番号 0465495」

「旧吉田茂邸再建寄附金」キユウシダシゲルテイサイケンキフキン」です。なお、振込手数料は、寄附者の負担になります。

①③の方法で寄附を頂ける方については、あらかじめ、「寄附申出書」により、町へ申出を行ってください。また、⑤の募金箱以外の寄附で、寄附金額が2千円を超える場合は、ふるさと納税の対象となります。詳しくは左記担当に問合せください。

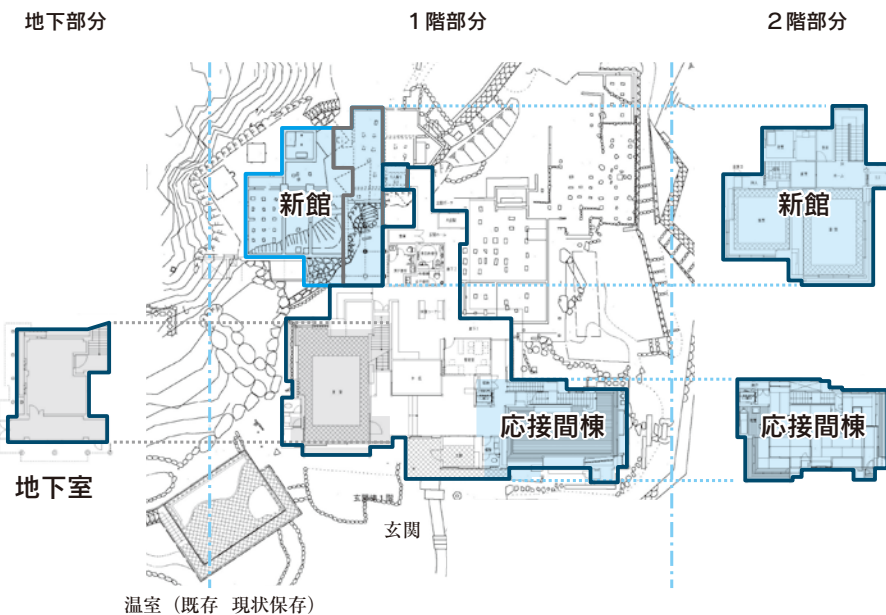
◎問い合わせ 都市計画課 旧吉田茂邸再建担当 内線238

◎問い合わせ 都市計画課

旧吉田茂邸再建担当

内線238

### 再建の範囲が決まった旧吉田茂邸（基本プラン図）



※上記は基本的な再建プランであり、今後の詳細検討において、技術的・法令的な面から変更する可能性があります。

### シリーズ連載⑧ 大磯景観応援団

## 「大磯そごろ歩き」

昔ながらのたたずまいの大磯駅舎は、高い天井にあるステンドグラスに趣きを感じさせます。オレンジ色の屋根に白い外壁の駅舎は、明治時代から別荘地になっっている気品あるこの地に、端然とたたずむ木造建築の駅として、平成12年に「関東の駅百選」にも選ばれています。

また、大磯駅を線路沿いに東に行くとはど近く、大正時代に建築された洋風の建物に和風平屋が接続した建物も見ることが出来ます。このように大磯駅近辺には、洋風の古い建物が残された、昔ながらの面影のある地域でもあります。

大磯駅の正面から国道1号に向けて西へ下ると、エリザベス・サンダースホームの懐かしい建物が道沿いから眺められ、反対側には大磯小学校もあり子供たちの声が聞こえる教育地区の風景環境が見られます。そして、道なりに国道に抜けると、その先には、西行法師のいわれのある鳴立庵がたたずんでいます。この道沿いは、大磯町特有の歴史を感じさせる風景かと思えます。

大磯町は、明治期以降、別荘地として発展し、現代でも残すべき建物が多い所です。大磯駅周辺のこの地区は、日常の暮らしの中の歴史ある建物をとおして、落ち着いた景観を特に感じることが出来ます。

### ▼場所

大磯駅周辺

(景観応援団・新倉)

※この記事の感想や写真・投稿をお寄せ下さい。

◎問い合わせ

都市計画課

内線221



▲JR 大磯駅舎